

天白区認知症講演会

参加無料
申込不要

日時

13時00分~15時15分

場所

天白文化小劇場

(天白区原一丁目301番地
原ターミナルビル4階)

定員

当日先着 160名

内容

①認知症に関する取り組み紹介

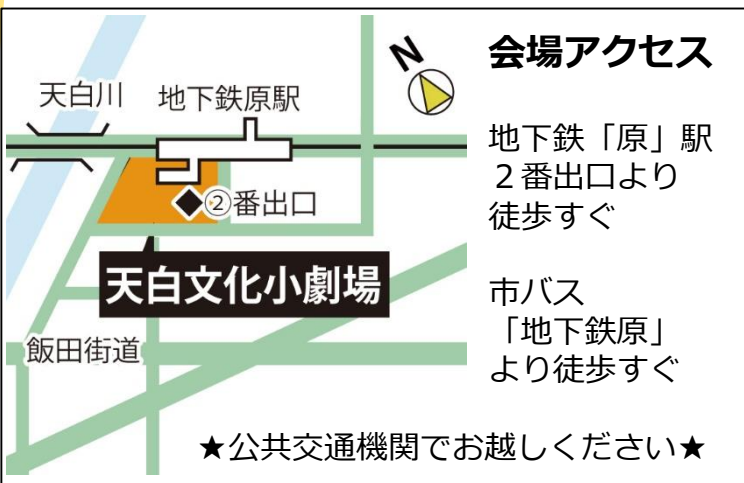
②映画上映

「オレンジ・ランプ」

日本語字幕つき



製作：野中浩三 野村弘孝 篠田篤 今村俊樹 五老剛 プロデューサー：澤藤雄史 高橋博行 アソシエイトプロデューサー：小川明日香 森本悠人 企画協力：丹野智文 撮影：鈴木一郎 照明：斉藤隆
 監修：西岡正巳 監製：宮島高志 美術：清原信也 装飾：森島耕智 衣裳：岡田友樹 タイプスクリュー メイク：伊藤聖希 キュラスター：田中大悟 助監督：金子功 制作担当：渡瀬祐輝
 Official Partner：三菱生命保険 特別協力：アパレルブランド「JUNON」/日本全額持分株式会社「アパレルブランド」/株式会社「アパレルブランド」/株式会社「アパレルブランド」
 演出・演出監修 製作：「オレンジ・クラブ」製作委員会（フジテレビ・テレビ朝日・日本テレビ・テレビ東京・テレビ西日本・テレビ神奈川・テレビ埼玉・テレビ千葉・テレビ静岡・テレビ愛知・テレビ大阪・テレビ和歌山・テレビ徳島・テレビ高松・テレビ香川・テレビ岡山・テレビ広島・テレビ山口・テレビ福岡・テレビ熊本・テレビ鹿児島・テレビ沖縄）
 ©2022「オレンジ・クラブ」製作委員会 www.orange-club.jp



主催：天白保健センター／天白区地域包括ケア推進会議 認知症専門部会

実話をもとに描く、 やさしさに満ちた 希望と再生の物語

あなたの
大切な人が認知症に
なったら？

Story

妻・真央や二人の娘と暮らす39歳の只野晃一は、充実した日々を送るカーディーラーのトップ営業マン。そんな彼に、顧客の名前を忘れるなどの異変が訪れる。下された診断は、「若年性アルツハイマー型認知症」。驚き、戸惑い、不安に押しつぶされていく晃一は、とうとう退社も決意する。心配のあまり何でもしてあげようとする真央。しかし、ある出会いがきっかけで二人の意識が変わる。「人生を諦めなくていい」と気づいた彼ら夫婦を取り巻く世界が変わっていく…。

“貫地谷しほり×和田正人”で描く、 笑い涙の夫婦の9年間の軌跡

本作は、39歳で認知症と診断されながらも、働きながら講演活動が続けている丹野智文さんの実話に基づく物語。夫と共に前を向く真央役に、連続テレビ小説「ちりとてちん」のヒロイン役で知られ、ドラマ「大奥」ほか映画・ドラマ・舞台で活躍する貫地谷しほり。夫・晃一役に、映画「THE LEGEND&BUTTERFLY」、「Winny」など話題作への出演が続く和田正人。実力派俳優の二人が、晴れやかな感動を生み出す。

「認知症になったら人生終わり」なんかじゃない

介護の世界を描いて13万人以上の人々に感動を伝え続ける映画『ケアニン』シリーズ製作スタッフによる本作。タイトルには、“小さな灯でも、みんなが灯せば世界はこんなに明るくなる”という願いが込められた。本人や家族が、認知症とどのように向き合えば笑顔で生きられるのか。認知症になっても安心して暮らせる社会とは？その一つの指標となり得る作品が誕生した。

企画協力：丹野智文さん

1974年、宮城県生まれ。ネットヨタ仙台に勤務。39歳のときに若年性アルツハイマー型認知症と診断される。診断後は営業職から事務職に異動し、勤務を続けながら、不安を持っているご本人のための忘れ総合相談窓口「おれんじドア」実行委員会代表を務める。自らの経験を語る講演活動にも力を入れている。

「オレンジ・ランプ」とは

認知症のシンボルカラーのオレンジと、みんなで灯せば世界を明るく照らすことのできるランプ。

この二つを組み合わせ、認知症になっても暮らしやすい社会づくりの象徴となる願いを込めたタイトルです。

貫地谷しほり 和田正人
伊崎充則 新井康弘 水木薫 平尾葉々花 安山夢子 井上拓哉 池田朱那 金子さやか 谷田部俊 日向丈 山口智也 鈴木武 金澤美穂
山田雅人 堀田真三 赤間麻里子 赤井英和 / 中尾ミエ

オレンジガーデニング
プロジェクト

天白区地域包括ケア推進会議
認知症専門部会の取り組みを
天白区役所公式ホームページ
に掲載しています ↓



認知症講演会についてのお問合せ

天白保健センター保健予防課

天白区東部いきいき支援センター

天白区西部いきいき支援センター

TEL:807-3924 FAX:803-1251

TEL:809-5555 FAX:385-8451

TEL:839-3663 FAX:839-3665